

令和3年度
第2回留萌市公共施設整備検討会議
議事概要

- 日時／令和3年8月12日（木）18:00～20:30
- 場所／留萌市役所3階 3・4号会議室
- 出席者／委員 炭谷座長、向井副座長、大石委員、村上委員、西埜委員、笠井委員、
神部委員、坂本委員、堀口委員、高橋委員、大和委員、遠藤委員、
伊端委員、大舘委員、谷委員、田村委員※順不同
- オブザーバー 留萌振興局：榎波部長、市教育委員会：伯谷課長、峨家係長、
事務局 海野課長、菊池係長、高橋主任
- アドバイザー 北海道大学大学院工学研究院：小篠准教授
- 運営支援 (株)ドーコン 佐竹、佐藤

1. 開会

2. 座長挨拶

－炭谷座長よりあいさつ。

3. 資料説明

(1) 令和3年度 公共施設整備検討会議 各回テーマ（案）【資料1】

- －事務局より、令和3年度 公共施設整備検討会議 各回テーマ（案）【資料1】について説明。
- －質疑・意見確認
- －特になし。

(2) 留萌市社会教育施設の利用状況【資料2】

- －ドーコン、留萌市より、留萌市社会教育施設の利用状況【資料2】について説明。
- －質疑・意見確認

(○○委員)

・4点確認したい。

- ①特定の団体のみがいつも使っている部屋があるか。
- ②面積の小さい狭い部屋はあまり利用されていないとの説明があったが、狭い部屋の数を減らすことで何か問題はあるか。
- ③公民館、サークル団体数の減少は具体的にどの程度か。
- ④文化センターの興行利用が現状のキャパシティでは難しいとの説明があったが、500人や350人のキャパシティのホールにすることで利用が増えるという事が確認したい。

(事務局)

- ①調理室はそば打ちサークルでしか利用されてない等の事例がある。
- ③現在のサークルは40団体程度。昔は80団体程度あったと記憶している。

(〇〇委員)

- ①限られた団体が、限られた部屋を使っている例は多々ある。基本的にサークルごとにいつも利用する部屋は固定されている。また、託児室の利用率が高い理由として、利用料金が最も安いことが考えられる。
- ②管理者の立場としても、無駄に部屋数を増やしても非効率であると感じる。ただ、社会教育施設のいろはを考えると、文化を醸成するために必要であるという考え方もある。しかし、文化が醸成されなかった場合、利用者も減少していくため、個人的には削減していいと思う。
- ③正確には分からない。
- ④過去に開催した、綾小路きみまろの公演チケットはあっという間に売れた。しかし、タカアンドトシ、アンタッチャブル、林家たい平などの公演は会場が埋まらなかった。料金を安くすると人が埋まるのかは分からないが、肌感覚で儲からないのではないかと感じる。

(〇〇委員)

- ・同様の町で、小平町の文化センターでも興行を行っている。留萌市より人口が少ないにも関わらず、有名人が公演している。過去に大黒摩季さんの公演チケットを購入しようとしたが、小平町の人しか購入できなかった。なぜ小平町が呼べるのに、留萌市には来ないのか疑問。市民に疑問持っている人が多いと思う。留萌市でもそういうことをできないか。また、小平町にも意見を聞いて参考にするべきではないか。

(〇〇委員)

- ・小平町はお金を出している。また、サポーターズクラブという団体があり、民間団体がチケットを売っている。留萌市も過去には、日刊留萌新聞や市がお金を出すことで有名人が公演に来ていた。美空ひばり、西城秀樹、劇団四季など。

(〇〇委員)

- ・留萌市に財源がないことは分かっている。しかし、留萌市が盛り上がっていきけるように、小平町にも話を聞いて参考にし、変えていかなければならない。留萌市の住民は、良くも悪くも新たな建物も最初のうちだけ騒ぐ。本当に有意義な建物を建てなければいけないと感じる。

(事務局)

- ・小平町のサポーターズクラブは施設が建設される前からあったと記憶している。同様の団体も作らなければならない。施設整備と共に同時並行で進めていけると良いと考えている。

(〇〇委員)

- ・スポーツセンター夜間利用したいという声は誰からなのか。チームなのか、個人なのか。具体的に教えて欲しい。

(〇〇委員)

- ・主に定例利用している団体がある。それ以外に利用したい人がいる場合、溢れてしまう。昼間の利用が仕事のため、難しい場合もある。また施設運営上の決まりがあり、1面は卓球、2面は一般利用。一般開放は週に2回等という決まりがあり、団体利用ができなくなる場合がある。高校生の利用時間は隙間狙いとなっており、稼働率向上にもよい。

例えば、初山別村のスポーツセンターはガラガラです。札幌や東京の施設は混雑しています。それを考えると、留萌市はちょうどいい利用環境ではないかと感じている。しかし、利用したいときに利用できないとクレームが来ることもある。

(小篠先生)

- ・公共施設の箱を作る事は大事だが、それをどのように利用していくかが重要である。東川町では、大黒摩季さんが公演を行っている。これは、東川町のことを大黒摩季さんが好きになっているからである。アーティストも人間のため、町からの期待に応えたいと感じる。小平町は補助金も加えても必ずしも利益が出ているかは分からない。アーティストの熱意次第である。公共施設を税金で作って、税金で運営するというスタイル自体が変わってきている。スポーツ施設はデータからも利用率が下がらず頑張っていることが分かる。これは、運営者サイドが努力しているからである。
音楽合宿の取組状況について教えていただきたい。

(〇〇委員)

- ・音楽合宿の取組は今年で8年目。1年目は1団体のみ。しかし一昨年は、計1300泊、1400万円程度の経済効果があった。主に旭川、札幌、網走などから中高生が訪れている。留萌青年会議所の1事業であり、今年も既に3団体受け入れ済みである。広いスペースを必要とする、マーチングを行うのに文化センターが適している。また、公民館、体育館、文化センターと一緒に立地していることがよい。練習後、公民館にそのまま泊まることも可能。留萌市内には宿泊施設がないが、教育の一環として、雑魚寝をさせたいという要望があり、公民館は80人程度、コミュニティセンターは50人程度の雑魚寝が可能である。また、上手な人達が留萌を訪れることで、地域の子供達にも観覧等で文化教育として好影響がある。また、市民の皆さんに演奏を発表するサンクスコンサートも実施している。

(小篠教授)

- ・経済と文化教育の両面で好影響となっている。公共施設の立地場所上、相乗り利用ができるようになっており、3つの施設をまたいで使えるようになっている。今後の展望があれば教えて欲しい。また、施設規模はどのようにすべきだと感じるか。

(〇〇委員)

- ・今後の展望としては、道内の中学校高校の夏休みは8月15日までに、道外の中学校高校の夏休み期間は8月30日である。また、支部大会は9月1日に行われる。その為、8月15日～8月30日までの期間で道外からの合宿需要を取り込んでいきたい。加えて文化センターには市民吹奏楽団の保管庫があるため、楽器を貸し出すことも可能である。施設規模は収容人数ではなく、ステージの広さや、音響面の機能が重要である。遠軽町のホールは収容人数が800人から500人に少なくなったが、ステージサイズは変えずに音響面を考慮して整備している。

4. グループ協議

(テーマ)

現社会教育施設の利用変容と施設課題を認識し、まちなかの「賑わい再生」につながる「新しい公共施設」に必要な役割を考えよう。

(1) グループ協議

－4 グループに分かれて意見交換を実施。

(2) 意見交換の結果報告

①A グループ

－〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・社会教育施設の現状から、使用率の低い部屋は減らしてよいのではないかと。
- ・短時間での時間貸しが可能な施設が望ましい。
- ・公民館の調理室も決まった団体しか使っていないのではないかと。調理室は船場公園、コミュニティセンター、ハートフルにもある。市民が施設があることを知らないことが問題ではないかと。住民への周知が重要である。そのため新施設には必要ないのではないかと。ただ、各施設の改修は必要ではないかと。
- ・にぎわい創出の事例として、砂川の自由通路が参考になるのではないかと。自由に使えるフリースペースがあるといい。具体的には、イベント利用や、管理運営団体（民間）の仕組み作りも必要である。
- ・市役所の窓口機能も新施設にあると良い。市庁舎の窓口機能だけでもあると便利である。
- ・食事や買い物ができる機能もあることが望ましい。
- ・駅前前提であれば、道の駅を訪れる町外の人達との交流も生まれるのではないかと。

－小篠准教授よりコメント

- ・今までの公共施設は、型に決まったようなものを整備していた。また、市民は整備された内容を十分に理解していないことで、利用も限られていた。全部を壊して、全部を建て替える必要はない。
- ・新しく作る施設はフレキシビリティが重要である。様々な利用が可能な機能が必要。
- ・市役所機能を持っていくことは、最後の切り札となるが利用向上に繋がると感じる。組み込む施設に関わる運営サービスや、タイムスケジュールを組むような市役所の課を設置することは良いのではないかと。同様のことを行っている市町村はある。

②B グループ

－〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・効率的に造る。コンベンション（産業会館）、フリースペースとして、若者やお年寄りの集まれる場所は必要ではないかと。
- ・市民が運営していく仕組み作りが必要。議場を組み込んでもよい。長岡市が実際に行っている。
- ・収益が期待できるように造る。
- ・賑わいを創出するために、市役所機能の移転も考えるべきでは。

－小篠准教授よりコメント

- ・長岡市にアオーレ長岡という施設があり、市役所機能だけでなく、イベントを実施できるようなアトリウムや市民コミュニティが入れるスペースを組み合わせた事例がある。施設完成後、人が集まるようになり、周辺にはサ高住も建設されており、事業として成功している。
- ・コンベンション機能だけでなく、他機能と組み合わせて使えることが重要である。ホールだけでなく、市民の交流やワークショップの開催なども考えられる、ホール以外のスペースも重要である。

③C グループ

ー〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・調理室は船場公園やハートフル等にあるため、新たなに整備する必要はないのではないか。しかし、視聴覚室等の特殊施設は必要。
- ・天井高のいらないスポーツはスポーツ施設以外でも転用可能な施設スペースを作るべき。
- ・ステージの席数は減らしてもいいが、ステージの広さはある程度必要ではないか。
- ・施設整備と併せて駐車場、道路、公共交通網も一体的に検討する必要がある。
- ・整備費を度外視すれば、市民が集えるスペースとして図書館機能があると良いのではないか。
- ・留萌市役所はエレベーターがなく年配者にはつらい造りであることから、市民窓口サービスは新施設に移動させられると良い。本当は市役所の全機能を新施設に入れられると良い。市役所を移すことで食堂も整備されることになる。
- ・部屋の転用を考えると、市役所が移転することで、会議室も共用で使うことができる。

ー小篠准教授よりコメント

- ・図書館は非常に重要なスペースである。留萌市は過去に本屋さんがなくなった際も大きなニュースとなっていた。そのため、本と触れ合うニーズはあると感じている。人流を活性化させる上で、本は脇役を果たしてくれる。公共施設の中で、図書館はずっと滞在して良い唯一の施設である。図書館以外の施設は、基本的に利用料が発生するが、無料で利用可能な機能を施設に組み込むことは大きな意味がある。
- ・法律上の図書館でなくても、図書室でも図書機能があるだけでも良い。
- ・図書をベースにした回遊を起こすためには、街中に機能を増やすことが重要である。店先に本棚を置いてもらうという街中図書館という取り組みもある。本棚のみを設置し、いらなくなった本を寄贈する、蔵書の無い図書館という取組を行っている施設もある。また、巻末にカードが入っており、感想等を書き込む機能を持たせている場合もある。ここから間接的な交流が生まれる。長野県小布施町が良い事例である。

④D グループ

ー〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・現状建物をコピーした施設を建てるべきではない。現状を踏まえた機能を入れ込む必要がある。
- ・スポーツセンターに必要な機能も変わっているのではないか。現状に即した施設を整備すべき。

- ・収益か利用率を目的とするかにより、コンセプトが異なるのではないか。
- ・収支は生まれなくとも（赤字にはならない程度）、市民に利用してもらえらる施設を整備すべき。
- ・防災機能が必要ではないか。
- ・にぎわい復活のためには、店をただ作るのは違う。周辺店舗との兼ね合いもある。深川の駅前のような機能もハードとして必要ではないか。
- ・公共交通網と組み合わせた検討も必要である。
- ・屋根と壁がある建物の議論となっているが、屋根だけのスペースも必要ではないか。

ー小篠准教授よりコメント

- ・公共交通網とどのようにネットワークするかは重要である。利用者の足はしっかり考える必要がある。
- ・防災機能は立地場所によって多少変わるかと思う。街中であれば、ハザードマップとの関連も必要である。西日本豪雨の際、広島県でまだオープン前の施設に逃げ助かった事例もある。災害時の一時避難場所として機能することは大事である。
- ・中に店舗を入れることで周辺店舗を圧迫するのではないかと話があったが、逆に回遊性があがることで、周辺店舗を圧迫することはないと感じる。
- ・屋根のみの空間は季節の問題はあるが、半外部空間は市民の居場所になり得ると思う。

ー質疑・意見確認

ー特になし。

ー本日の振り返り（ドーコン）

- ・4グループの基本的な方向性は合致している。
- ・利用実態に合わせたものを造るべき。
- ・運営面も柔軟性が必要。
- ・市役所機能を持っていく。
- ・一時避難場所としての機能が必要ではないか。
- ・自由に利用できるフリースペースの整備。
- ・収益や稼働率はバランスが重要である。
- ・ホールの客席は減らしても、ステージサイズや音響が重要である。
- ・使いやすく、賑わいを生む施設を整備するためには、公共交通もセットで検討すべき。

5. その他

ー特になし。

ー質疑・意見確認

(〇〇委員)

- ・本日のテーマとはずれてしまうが、一言述べたい。日刊留萌新聞に公共施設は安全な場所にあるべきであり、津波や洪水が心配である JR 跡地ありきの整備は問題であると記載されていた。また、本検討会議は民意をまとめ、既成事実を作り上げているとの記載があったが、疑問を感じている。確かに、津波や浸水の危険性はあるが、少しでも危険性のある場所に公共施設を建てられない場合、日本全国で建設が難しい場所だらけとな

ってしまう。本会議の事務局には、災害に関する科学的知見に基づくデータの収集及び開示をお願いしたい。加えて、会議の方向性については広く公開し、住民からの意見を収集すべきだと考えている。

(事務局)

- ・防災、安全面は科学的な検証を踏まえ判断したい。利便性と安全性のバランスが重要だと考えている。次回会議で議題にもしたい。

6. 閉会